

## 追い風を受ける米国銀行業界

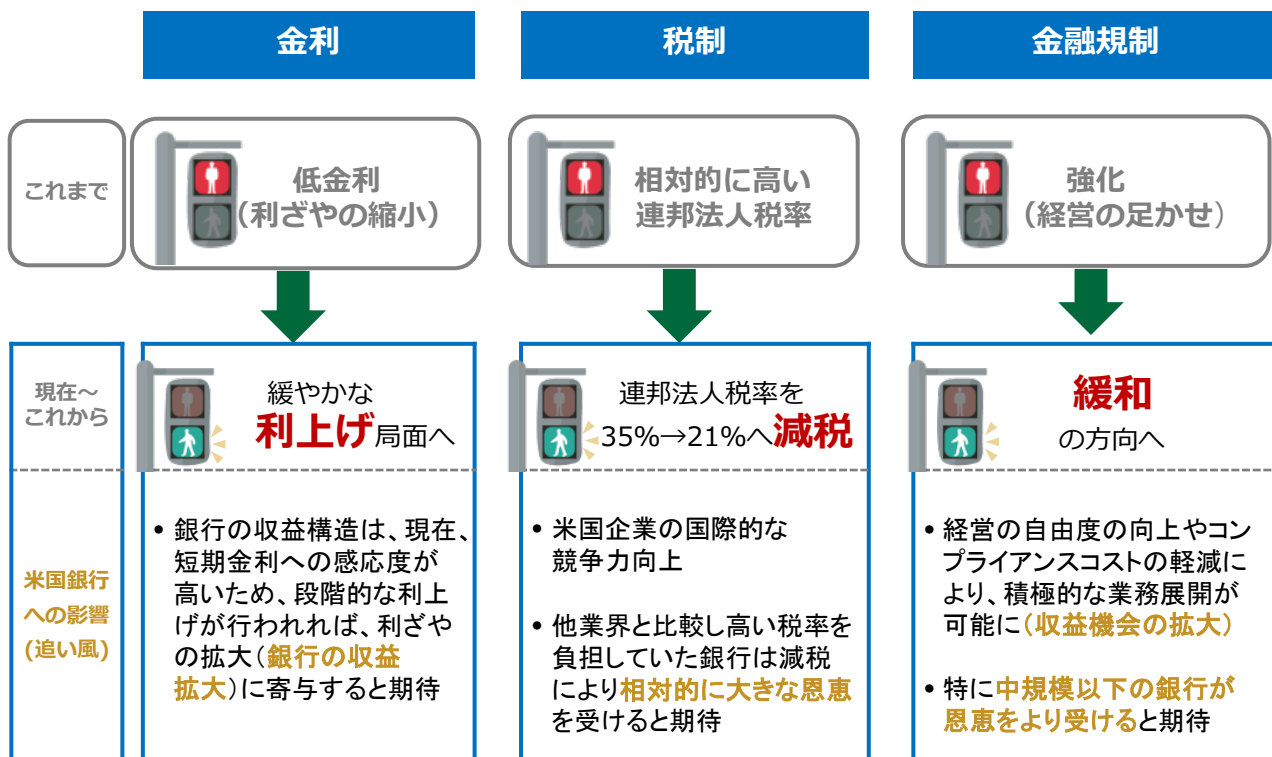
2008年以降、長期にわたり株価の低迷がみられた米国銀行株式ですが、米国景気の拡大やトランプ政権の政策などを背景に業界を取り巻く環境に大きな変化がみられます。当レポートでは、これらの変化について整理します。

### 魅力的な投資機会にある米国銀行株式

<p>1. 景気拡大による米国銀行の <b>収益拡大期待</b></p>	<p>(1) 景気拡大による貸出増加 (2) 金利上昇による収益拡大</p>
<p>2. 米国銀行を取り巻く <b>構造的な変化</b></p>	<p>(1) 活発なM&amp;Aによる事業拡大・効率化 (2) 税制改革・金融規制緩和</p>
<p>3. 魅力的な <b>バリュエーション</b></p>	<p>長期過去平均と比較したPBR（株価純資産倍率）の割安感*</p>

\*S&P500銀行株指数、データ期間：1990年12月末～2018年2月末(月次)

### 米国銀行を取り巻く環境の変化



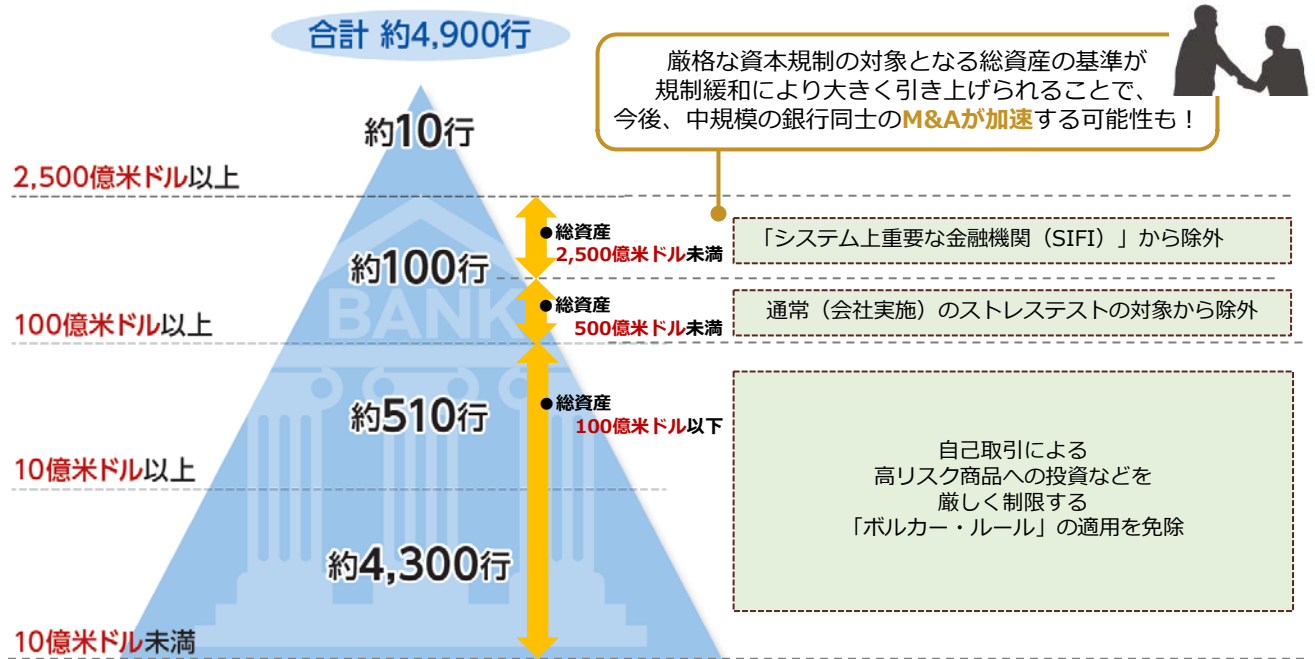
出所：各種資料をもとにマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

《ご参考》米財務省が提案している主な金融規制の緩和策

項目	概要
ボルカー・ルール <sup>1</sup> の緩和	総資産100億米ドル以下の銀行は原則除外へ
通常(会社実施)のストレステストの対象を縮小	適用基準を総資産100億米ドル以上から500億米ドル以上に引上げ
厳格な規制・監督をうける「システム上重要な金融機関(SIFI)」の対象を引き上げ	適用基準を総資産500億米ドル以上から2,500億米ドル以上に引き上げ
資産評価やストレステストの簡素化	対象項目の絞り込み、回数の削減等

(2018年2月末現在)

● 主な規制緩和の対象となる銀行数(資産規模別)のイメージ



上記はイメージ図です。

\* 上記は米国の銀行のうち商業銀行の数値を使用  
 \* 総資産規模別の米国銀行数は2017年12月末現在のデータを使用しています。  
 出所: 各種資料、FDIC(米連邦預金保険公社)のデータをもとにマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社が作成

[ご留意いただきたい事項]

- 当資料は、マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます)が、投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、特定の投資商品の推奨を目的としたものではありません。
- 当資料記載のデータや見通し等は、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報をもとに作成しておりますが、正確性、適時性を保証するものではありません。
- 当資料の内容およびコメントは資料作成時点における経済・市場環境等について当社の見解を記載したもので当該見解は予告なく変更される場合があり、将来の経済・市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 各指数に関する著作権等の知的財産、その他一切の権利は、各々の開発元または公表元に帰属します。
- 投資信託のお申込みの際は、必ず最新の投資信託説明書(交付目論見書)で商品内容をご確認の上、ご自身で投資のご判断をお願いいたします。
- 当資料に関する一切の権利は、引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部または全部の無断での使用・複製はできません。

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第433号  
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会